2019 年　度　事　業　報　告　書

　　　　　　　　　　　　　　　　法人の名称　　特定非営利活動法人 ディスカバーブルー

１　事業の成果

　真鶴町から3件の委託事業をはじめ、自主事業として真鶴町における「海のミュージアム」として観察会イベント２6回をはじめ、19回の出前授業（委託事業を含む）、9回の指導依頼等、のべ6,720名（2018年度実績6,008名）の人の海との出会いをサポートし、「人」と「海」をつなぐかけ橋となることができた。

２　事業内容

（１）特定非営利活動に係る事業

①　「人」と「海」をつなぐかけ橋となる事業

ア　海洋生態系教育サービス事業

・内　　　容　　真鶴町立遠藤貝類博物館と共催の一般向けイベント「海のミュージアム」の実施や私立中学・高校の臨海実習の企画実施、他団体との連携や依頼を受け、地域の海の生物・生態系の指導やイベントを実施した。また、真鶴町から海の学校関連事業を受託し、真鶴町内の児童や遠足等で訪れた児童・生徒を主な対象として生物観察指導を行った。さらに、船の科学館「海の学びミュージアムサポート」助成(2020年3月〜6月)を受け、物品やプログラムの拡充を図った。2020年3月は新型コロナウイルス感染症の流行により、海のミュージアムや依頼のあった私立中学校の指導など、全てを中止とした。

・日　　　時　　通年

・場　　　所　　神奈川県内および周辺地域

・従事者人員　　4人

・対　象　者　　サービスを望む一般市民、企業・団体・学校等　5,331名

・支　出　額　　4,752,160円

イ　インタープリター養成サービス事業

・内　　　容　　サービス開始に向け情報収集と検討を行った。

・日　　　時　　随時

・場　　　所　　神奈川県内及びその他の沿岸地域

・従事者人員　　1人

・対　象　者　　インタープリター養成講座の受講を望む一般市民

・支　出　額　　0円

ウ　海または海洋生態系及び法人に関連するオリジナルグッズの開発・販売事業

・内　　　容　　昨年度に引き続き、「海を学び、海に親しむための磯の生物観察ガイド　真鶴半島の磯の生物」を真鶴町立遠藤貝類博物館等において販売するとともに、学校図書として、茅ヶ崎市立鶴が台中学校に30冊納入した。また、オリジナルTシャツの販売準備を行った。

・日　　　時　　通年

・場　　　所　　神奈川県内

・従事者人員　　3人

・対　象　者　　一般市民

・支　出　額　　930円

エ　広報事業

・内　　　容　　海及び海洋生態系に関する情報や法人活動の普及広報活動のために、ホームページの管理を行い、随時、情報を掲載・更新した。また、ブログやfacebookを開設し、広報コンテンツを拡充させた。

・日　　　時　　通年

・場　　　所　　神奈川県内

・従事者人員　　2人

・対　象　者　　一般市民

・支　出　額　　24,852円

②　「海」を知り、みまもるシステムを構築する事業

ア　市民参加型海洋生態系モニタリングネットワーク事業

・内　　　容　　ネットワーク構築に向け、協議・調整・検討を行った。また、OBIS日本ノードにデータ提供を随時行った。

・日　　　時　　通年

・場　　　所　　神奈川県内及びその他の沿岸地域

・従事者人員　　２人

・対　象　者　　一般市民及び海洋関連事業従事者

・支　出　額　　０円

イ　海洋生態系科学調査事業

・内　　　容　　随時、真鶴半島沿岸域の生物情報等の集積を行った。

・日　　　時　　通年

・場　　　所　　神奈川県内及びその他の沿岸地域

・従事者人員　　２人

・対　象　者　　一般市民及び海洋関連事業従事者

・支　出　額　　0円

③　いつまでもこの海と暮らしていける社会を構築する事業

ア　海及び沿岸地域の自然を活かしたまちづくり事業

・内　　　容　　「地域の海の総合的管理に資する「海の学び」拠点の実現に向けた取り組み」事業を真鶴町から受託し、主に町民を対象として地域の海の情報を伝える「海の月報」の発行、「海を活かしたまちづくり研修会」（役場職員向け研修）、「真鶴自然こどもクラブ」（町内児童向け）、閑散期における「海のミュージアム」（一般向けイベント）等を開催した。一方で、3月に予定していた2件のイベントは新型コロナウイルス感染症の流行のため、中止とした。また、真鶴町立遠藤貝類博物館に支援を行っている船の科学館の仲介で、船の科学館の支援先でもあるあおもりみなとクラブの依頼で、「海を活かしたまちづくり」に関する講演を行った。

・日　　　時　　通年

・場　　　所　　神奈川県真鶴町

・従事者人員　　4人

・対　象　者　　真鶴町民、真鶴町役場職員、一般市民等　1,389名

・支　出　額　　2,607,877円